



令和3年度

多北高 FRH 通信 第07号

令和3年12月7日(火)

多北高 FRH 推進委員会
探究推進部

1、2年生多治見研究合同発表会

令和3年11月5日(金)6限に、多治見研究発表会が行われました。2年生が前期に行った探究的活動で、優秀な研究を行った4つのグループが各教室を結ぶオンラインで発表し、1、2年生が視聴しました。

1年生の感想

★ 多治見について知らないことがたくさんあってとても興味深く聞くことができました。多治見に病院が700もあることに驚いたし、土岐川が割と綺麗な方ってことにすごく驚きました。土岐川は今まで汚い方に入る川だと思っていたので、絶滅危惧種が繁殖していることなど新しい気づきが多かったです。特に面白かったのは、ラーメンについての発表です。女性が入りやすいという観点に着目し、様々なラーメン店に行って調査して、そういうのも面白そうだと思います。ラーメンが食べたくなりました



★ 思っていたよりも研究のテーマがラフであったことに驚いた。しかし、研究の内容は決して軽くはなく、発表の事前準備の凄まじさを垣間見た気がした。先輩方の圧巻の発表には心引かれるものがあり、憧れを感じた。来年は自分たちの番でもあるので、普段何気なく過ごしている多治見市での小さな発見や疑問を大切にし、自分の興味関心をさらに押し進めたい。



2年生の感想

<発表の感想>

★ 予想する、取材する、考察する、そこからまた調べるという流れを、どの班も実践していてよかったです。予想もなんとなくのものではなく、過去のデータの統計から考えている班もあって、すごいと思いました。「ラーメン」と「水質調査」の班は、「ラーメンを食べたい」とか「川に入りたい」という好奇心からここまでの研究ができていて、発想がすごいなあと思いました。

★ 熱中症の発表について、多治見市の熱中症患者が全国と比べて少ないのは、小中のエアコンの導入が遅かったことも挙げられるのかなと思った。小さいころに外で遊んだり体育があったりして、暑さ耐性がついたとか。そうすると、小中学校にエアコンがついたことで、今後多治見市における熱中症患者数は変化するのかなと気になった。

<自分の取り組みの感想>

- ★ 多治見について調べていくと、全く知らないことが新たに出てきたりして、研究が有意義なものになった。多治見で有名なものを研究するのではなく、誰も見つけていない多治見の新たな可能性を、もっと研究していきたいと思った。

- ★ グループで探究する内容、発表の仕方を考えることで、物事に対する考える姿勢、仲間と交流することの重要性を、改めて認識できました。今まで知らなかったような多治見の魅力を知る機会にもなって、大変有意義でした。また、地元についてまだまだ知らないことがあると気づいたので、もっと機会があれば調べたいと思います。